

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年2月5日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2112 URL https://www.ensuiko.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 弘行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 小田 俊一 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	18,294	△8.3	862	△20.0	840	△21.8	545	△24.0
2020年3月期第3四半期	19,952	△1.5	1,078	5.8	1,074	△2.0	718	△4.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 609百万円(△11.3%) 2020年3月期第3四半期 687百万円(30.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	20.12	—
2020年3月期第3四半期	26.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	26,327	9,386	35.7
2020年3月期	24,530	8,903	36.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,386百万円 2020年3月期 8,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△2.6	850	△20.6	890	△22.7	620	△20.2	22.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	35,000,000株	2020年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	7,845,675株	2020年3月期	7,890,655株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	27,131,589株	2020年3月期3Q	27,109,347株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により企業収益の低下や雇用環境の悪化が続いており、極めて厳しい状況で推移いたしました。5月下旬以降、徐々に経済活動が再開され、個人消費の回復が期待されましたが、第3波の感染拡大が生じ、その回復に向けた動きは鈍く、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社及び当社グループはお客様、従業員およびその家族、地域社会、関係取引先の安全と健康を確保することを最優先に、所管省庁で策定されているガイドラインに則った感染防止策を徹底することで、持続可能な生産・供給体制の維持に努めております。

生活必需品である砂糖や、オリゴ糖をはじめとした機能性素材等の製品を、非常時においても安定して消費者の皆様にお届けすることを第一義に、お客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」として、年度計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において10.39セントで始まりましたが、コロナ禍の拡大が同相場へも影響し、4月下旬に2007年以来の安値となる9.05セントを付けました。その後、各国の経済支援策や金融緩和が進み、投機資金が商品市場に流入したことに加え、10月以降は主要生産国タイの不作等、砂糖供給懸念が高まったことから11月中旬に高値15.66セントを付け、同水準を維持したまま15.49セントで当第3四半期連結累計期間を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白大袋1kg当たり）は、期初187円～188円で始まり、同水準のまま当第3四半期連結累計期間を終了しました。

精糖およびその他糖類などの国内販売は、家庭用製品では巣ごもり需要の高まりによる追い風があったものの、根幹にある砂糖需要の減少傾向に歯止めがかからず、総じて低調に推移しました。業務用製品については、感染再拡大に伴い、外食産業や土産品等向けの販売が低調に推移、一時は「GoToキャンペーン」による需要回復の兆しが見えていたものの、売上高は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、砂糖事業全体の売上高は16,783百万円（前年同四半期比9.4%減）、セグメント利益は1,455百万円（前年同四半期比14.5%減）となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖部門は、コロナ禍における消費者の皆様のご健康志向の高まりを受け、特定保健用食品「オリゴのおかげ」の更なるシェアアップを図るべく、各種広告等を積極的に用いて提案、事業拡大に向け取り組んでまいりました。この結果、同製品はレギュラータイプのみならず、大容量タイプやより高い機能性をもつダブルサポートタイプの販売についても好調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。

サイクロデキストリン部門は、一部製品において巣ごもり需要の高まりから好調に推移したものの、一方で外食産業向けがコロナ禍により大きく打撃を受け、サイクロデキストリン全体では、厳しい販売状況となりました。また末端ユーザー製品やレシピ変更等による使用量減も重なり、売上高は前年同四半期を下回りました。

この他、新商品「奇跡の野菜といわれるピーツをドリンクにしました」を11月よりWebにて先行発売、認知度向上に向けた取り組みとして雑誌・新聞広告を積極的に導入するなど、拡販に注力してまいりました。

以上の結果、バイオ事業全体の売上高は1,466百万円（前年同四半期比5.4%増）、セグメント利益は305百万円（前年同四半期比20.1%増）となりました。

③その他

その他の事業につきましては、ニューESRビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は101百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント利益は47百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,294百万円（前年同四半期比8.3%減）、営業利益は862百万円（前年同四半期比20.0%減）、経常利益は840百万円（前年同四半期比21.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は545百万円（前年同四半期比24.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産

流動資産合計は前連結会計年度末に比べて2,185百万円増加し、9,550百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,716百万円増加、受取手形及び売掛金が421百万円増加したことによるものです。

固定資産合計は前連結会計年度末に比べて388百万円減少し、16,776百万円となりました。これは主に、有形固定資産が302百万円減少、無形固定資産が24百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,796百万円増加し、26,327百万円となりました。

②負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて1,312百万円増加し、16,940百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が131百万円増加、長期借入金が1,990百万円増加した一方で、短期借入金が600百万円減少したことによるものであります。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて483百万円増加し、9,386百万円となりました。これは主に、利益剰余金が410百万円増加、その他有価証券評価差額金が71百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結業績予想につきましては、2020年5月11日に公表の通りであります。

ただし、今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により事業環境が変化し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,705	4,421
受取手形及び売掛金	1,602	2,023
商品及び製品	1,007	999
仕掛品	245	175
原材料及び貯蔵品	668	764
その他	1,135	1,165
流動資産合計	7,365	9,550
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,119	10,154
減価償却累計額	△6,928	△7,110
建物及び構築物(純額)	3,191	3,044
機械装置及び運搬具	11,794	11,843
減価償却累計額	△9,789	△10,015
機械装置及び運搬具(純額)	2,005	1,827
工具、器具及び備品	434	413
減価償却累計額	△363	△356
工具、器具及び備品(純額)	70	57
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	17	52
有形固定資産合計	10,519	10,216
無形固定資産		
ソフトウェア	94	69
その他	6	6
無形固定資産合計	100	76
投資その他の資産		
投資有価証券	4,121	4,133
長期貸付金	1,306	1,335
繰延税金資産	1,007	920
その他	109	94
投資その他の資産合計	6,544	6,483
固定資産合計	17,165	16,776
資産合計	24,530	26,327

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	456	588
短期借入金	4,700	4,100
1年内返済予定の長期借入金	1,584	1,940
未払法人税等	158	91
未払消費税等	79	118
賞与引当金	77	35
その他	1,329	990
流動負債合計	8,385	7,865
固定負債		
長期借入金	6,356	8,346
退職給付に係る負債	578	494
繰延税金負債	0	0
その他	306	234
固定負債合計	7,241	9,074
負債合計	15,627	16,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	233
利益剰余金	11,005	11,416
自己株式	△3,021	△3,004
株主資本合計	9,975	10,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,061	△990
繰延ヘッジ損益	0	△0
退職給付に係る調整累計額	△11	△17
その他の包括利益累計額合計	△1,072	△1,008
純資産合計	8,903	9,386
負債純資産合計	24,530	26,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	19,952	18,294
売上原価	15,795	14,535
売上総利益	4,156	3,758
販売費及び一般管理費	3,078	2,895
営業利益	1,078	862
営業外収益		
受取利息	19	19
受取配当金	111	112
その他	13	7
営業外収益合計	145	138
営業外費用		
支払利息	60	66
持分法による投資損失	67	62
支払手数料	15	26
その他	5	6
営業外費用合計	149	161
経常利益	1,074	840
特別損失		
固定資産売却損	—	2
特別損失合計	—	2
税金等調整前四半期純利益	1,074	838
法人税、住民税及び事業税	324	236
法人税等調整額	32	55
法人税等合計	356	292
四半期純利益	718	545
親会社株主に帰属する四半期純利益	718	545

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	718	545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	73
繰延ヘッジ損益	△3	△1
退職給付に係る調整額	△9	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△2
その他の包括利益合計	△30	63
四半期包括利益	687	609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	687	609

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,503	1,364	85	19,952	—	19,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	26	16	56	△56	—
計	18,516	1,390	101	20,008	△56	19,952
セグメント利益	1,702	254	47	2,004	△925	1,078

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,769	1,438	85	18,294	—	18,294
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	27	16	57	△57	—
計	16,783	1,466	101	18,351	△57	18,294
セグメント利益	1,455	305	47	1,808	△946	862

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。